

2016 年度事業報告書

特定非営利活動法人 きんきうえぶ

I 事業期間

2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日

II 事業の成果

28 年度も、ICT を駆使して、全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う「ソーシャルインクルージョン」の理念を推進し、活動致しました。

ICT 推進事業の内、パソコン講座については、IT 情報弱者や格差をなくすため、富田林市社会福祉協議会や人権センターとの協働による「高齢者を対象としたパソコン講習会」を一年間連続で開催致しました。また千早赤阪村社会福祉協議会との協働による「生きがいつくり事業・やさしいパソコン教室、タブレット教室」も引き続き行いました。

太子町、河内長野市キックス、スマイルパソコンクラブ（2 クラス）においては、地域住民が中心となって主催するパソコン講座を講師が共にニーズを引き出し、工夫しながら進める方法で長年に渡り続け、受講生だけでは無く、講師の遣り甲斐、生甲斐作りともなっています。

その他、富田林市商工観光課委託による就労支援パソコン講座・就職に役立つマナー講座（託児付き）、富田林市人権協議会委託による就労支援パソコン講座も行いました。河内長野市の天野公民館、天見公民館などのパソコンサークルも定着し、地域における IT の底上げとして根付いています。

またトライアルで実施された（株）ダイナステップが窓口の goo の「やさしい格安スマホ教室」は、後援の NTT レゾナントの意向に添えず、8 月で終了しました。goo のスマホの売れ行きが伸びなかったためですが、企業との協働は販売に繋がらないと維持が出来ず、難しいと感じました。結果、無料のスマホ教室は終わりましたが、その代わりに同じく（株）ダイナステップ窓口、NTT ドコモ後援で、受益者負担の有料スマホ教室が 11 月から始まりました。

ICT 推進事業としては、H28 年度 4,589 名の参加者がありました。

パソコンクラブについては、クラブ代表者を中心として、クラブメンバー同士の友好関係を築き、友好関係の中からパソコンのスキルアップを図る勉強会を果敢に実施致しました。

富田林市で勉強会を開催している「とんだばやしうえぶ」、羽曳野市で勉強会を開催している「はびきのうえぶ」では、例年変わらず、住民中心の勉強会を開催していますが、会員の高齢化に伴い、会員数は減少傾向にあります。

H28 年度とんだばやしうえぶの年間勉強会回数は 69 回、会員数は 11 名、はびきのうえぶの年間勉強会回数は 66 回、会員 9 名です。

2011 年の「新しい公共モデル事業」で開発した「おはよう伝言板」も引き続き無償で実施し、5 年目になりました。登録者の高齢化による減少の他、携帯電話の機種変更、スマホへの移行でシステムが対応できず、おはようメールの受信を断念せざるを得ない人もあり、登録者は減少傾向にあります。（H29 年 5 月現在登録数 321 名、実稼働数 80 名）

しかし変わらず毎日のメールを楽しみにしている人も多く、今後も継続の見込みです。

介護予防事業として 10 年目を迎えた「街かどデイハウスきんき茶ろん」は利用者の高齢化が目立っていますが、初心者ゴルフ教室やタブレット教室、他お食事会により登録者数が増加し、H28 年度の街かどデイハウスきんき茶ろんの延べ利用者数は 1488 名、延べ利用時間は 7423 時間となりました。

他、定点型介護予防体操教室・定点型認知症予防教室は定着し、毎回、男女問わず、多くの高齢者

が参加し、定点型介護予防体操教室参加人数は延べ400名、定点型認知症予防教室は延べ448名の参加がありました。

富田林市市民公益活動支援センターは、5月に3年の契約を終えました。

富田林市よりH28年6月からまた3年契約の委託先の公募があり、5月13日、プロポーザルに臨みました。結果採択され、また新たにH28年6月から3年間の契約を交わしました。

市民公益活動の交流場所、活動場所として、6ヶ所のネットワークステーション、4ヶ所の公的連携施設では、年間8172名の利用者がありました。2ヶ月に一度のニューズレター発行や講習会を実施して、講習会の参加者は年間146名、メルマガの発行部数は年間126通です。

また今回、提案していた支援センター業務時間の延長も認められ、夜9時まで開所しています。

南河内のつどい（大阪狭山市、河内長野市、富田林市の市民公益活動団体および中間支援組織や行政、大阪大谷大学が連携して、年に1度のイベントを開催するために月に1度協議会を開催）にも、参加し、11月19日の第7回南河内市民公益活動団体・市民交流会「続けよう！みんなの活動 南河内のつどい」ではパネラーとして、登壇しました。

2月19日には、近隣の大型ショッピングセンター（株）関西都市居住サービスとの協働でエコーロゼを会場とした公益活動の市民への周知啓発が目的のイベント「第12回わくわく広場 in とんだばやし」を開催し、市内外おおよそ60団体の参加、約2000人の動員ができました。

また富田林市高齢介護課から受託の生活支援コーディネーター事業もH28年度よりはじまりました。市役所関係各課、包括支援センター、地域の地縁組織団体、有識者等で構成される協議体会議は、5/27、6/24、7/22、8/30、10/12、12/1、1/24、2/16、3/24と年間6回開催され、また打合せ会議は年間9回実施されました。第3圏域担当として、地縁組織、高辺台地域連携ネットや校区交流会議、金剛バルなどに参加し報告書をあげています。

5月に申請した平成28年度社会福祉振興助成事業（WAM助成）「スマホで作る小地域ネットワーク事業」は採択され、7月より富田林市社会福祉協議会、千早赤阪村社会福祉協議会、富田林市町総代会、富田林市自主防災組織連合会、NPO法人高齢者大学シニア富田林くすのき塾、伝達工学研究所、金剛まちネットと連携し、開始しました。結果45名のボランティア講師が生まれ、15地域208名（延べ832名）のスマホ講習会を開催しました。

スマホを敬遠しがちな高齢者に、身近に学べる場の提供によるIT情報格差の解消、生き甲斐作り、地域コミュニティ形成による孤立防止に繋がりました。

その他の受託事業としては、富田林市市民協働課を通して「富田林市町総代会60周年記念事業」のコーディネートを受けることになりました。準備委員会は前年度（H28年3月）から始まり、その都度会議に出席し、町総代会役員の意向を確認しながら企画するところから始まりました。

結果、富田林市町総代会創立60周年記念式典は、H28年11月5日（土）13:30～15:30、すばるホール銀河の間にて開催し、来場者は174名にて盛会の内に終わりました。

以上2016年度、全て、ICTを基盤とした活動として「人が個人の尊厳を保持され、その人らしい心豊かな人生を送ることができるまちづくりの形成」に、寄与するものとして実施致しました。

Ⅲ 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

WAM助成事業（平成28年度社会福祉振興助成事業）

(1) (事業名) スマホで作る小地域ネットワーク事業

(内 容) 「高齢者が住み慣れた地域で、孤立する事無く、助け合いながらいきいきと暮らし続ける仕組みを作る」ことを目的に、「現在の自治会単位・小学校区単位の小地域ネットワークを活かしながら、スマホのボランティア講師を養成し、様々なアプリを使って、見守り・災害時の助け合い・地域の情報交換・要援護者の支援を行う。人と人がコミュニケーションを取り、楽しみながら、更に顔の見える助け合いの小さな輪を大きく繋ぐ」事業。

富田林市社会福祉協議会、千早赤阪村社会福祉協議会、富田林市町総代会、富田林市自主防災組織連合会、NPO法人高齢者大学シニア富田林くすのき塾、伝達工学研究所、金剛まちネットと連携。

(実施場所) 主に富田林市の自治会館等地域の会館他、千早赤阪村社会福祉協議会

(実施日時) 2016年7月27日～2017年3月31日

(事業の対象者) 富田林市およびその周辺住民の高齢者（55才以上）

(収 入) 6,496,280（内44,280円雑収益）

(支 出) 6,634,576

自主事業

(1) (事業名) ICT推進事業

(内 容) 従来の個別指導のパソコン教室、集団のパソコン講座開催などの他、富田林市や社会福祉協議会からの受託事業として高齢者対象や就労支援のためのパソコン・タブレット講座などを実施した。（別紙1参照）

(実施場所) 富田林市小金台事務所、商工会（富田林市、大阪狭山市、河内長野市など）すばるホール、青少年センター、富田林市市民会館、富田林市社会福祉協議会、千早赤阪村社会福祉協議会、富田林市人権センター、人権協議会、河内長野市市民交流センター、河内長野市内公民館、大阪狭山市公民館等。

(実施日時) 2016年4月1日～2017年3月31日

(事業の対象者) 富田林市・羽曳野市・河内長野市・太子町・河南町・堺市およびその周辺住民

(収 入) 7,463,412

(支 出) 6,653,707

(2) (事業名) PCサークル運営事業

(内 容) パソコン勉強会（はびきのうえぶ・とんだばやしうえぶ、別紙2参照）でのホームページ作成、画像、HTMLなど

(実施場所) 大阪府富田林市・羽曳野市の各公民館・市民会館・ロゼサロン等

(実施日時) 2016年4月1日～2017年3月31日

1年を3ヶ月ずつの4クールに分け実施

はびきのうえぶ延べ66回、とんだばやしうえぶ延べ69回

(事業の対象者) はびきのうえぶ9名、とんだばやしうえぶ11名

(収 入) 72,680

(支 出) 64,820

(3) (事業名) おはよう伝言板

(内 容) 高齢者の毎日の「見守り・相談・買い物」を支援し、災害時に災害用伝言板を使いこなせるようになる携帯電話のシステム。

(実施日時) 毎日

(事業の対象者) 主に富田林市の高齢者

(収 入) 0

(支 出) 29,160

受託事業

(1) (事業名) 介護予防事業

(内 容) 街かどデイハウスきんき茶ろん、定点型介護予防教室、定点型認知症予防教室、独居高齢者見守り事業など、富田林市より委託

(実施場所) 富田林市小金台事務所

(実施日時) 2016年4月1日～2017年3月31日

(事業の対象者) 富田林市内高齢者(65才以上)

(収 入) 5,478,858

(支 出) 5,245,575

(2) (事業名) 市民公益活動支援センター

(内 容) 市民公益活動・ボランティア活動をしている人、したい人、関心のある人、学びたい人、交流したい人が気軽に使えるふれあいの場の提供。
富田林市より受託。

多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応し、市民生活のさらなる発展を期するために、今後の行財政運営は、民間の知恵や活力を導入するとともに、地域のボランティアやNPO等の市民活動との協働を図る必要がある。

専門的な技術やノウハウを持つボランティア・NPOがともによきパートナーとして、まちづくりに参加できる環境を整備する。具体的には、市民公益活動に関する情報の提供、市民公益活動及びNPO法人設立の相談、またNPO・ボランティア講演会や市民公益活動推進関連講座等の開催を行う。

(実施場所) 富田林市小金台事務所

(実施日時) 2016年4月1日～2017年3月31日

(事業の対象者) 富田林市内の市民、団体

(収 入) 7,057,193 (内 409,456 円雑収益)

(支 出) 7,217,306

(3) (事業名) 第3圏域生活支援コーディネーター受託事業

(内 容) 高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者を「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)」とし、富田林市では圏域ごとに配置された。

関係者のネットワークや既存の取組・組織等も活用しながら、上記のコーディネート業務を実施することにより、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取組を推進することを目的としている。

(実施場所) 富田林市第3圏域

(実施日時) 2016年4月1日～2017年3月31日

(事業の対象者) 富田林市内の市民

(収 入) 1,250,000 (見込み)

(支 出) 1,320,000

(4) (事業名) 富田林市町総代会創立 60 周年式典コーディネート事業

(内 容) 富田林市町総代会が創立 60 周年を迎えるに当たり、記念事業を開催するコーディネートをを行った。

これまでの歩みを振り返り、地域の関係団体とも手を携え未来に続くまちづくりに向けて本市の良さを再確認するとともに、さらなる発展をめざすことを目的としている。

(開催場所) すばるホール 4 F 銀河の間

(開催日時) 2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日

(事業の対象者) 富田林市内の町総代会加入の町会自治会

(収 入) 501,105

(支 出) 529,855

IV 社員総会の開催状況

第 14 期通常総会

(日 時) 2016 年 5 月 8 日 (日) 11 時 30 分から 13 時

(場 所) きんきうえぶ小金台事務所

(社員総数) 31 名

(出席者数) 22 名 (うち委任状出席者 9 名)

(内 容) 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告について

第 2 号議案 平成 27 年度会計報告について

第 3 号議案 平成 27 年度監事報告について

第 4 号議案 平成 28 年度事業計画・予算について

第 5 号議案 平成 28～29 年度監事選出について:定款第 13 条により

(審議結果) 各議案について、全員異議なく承認し、本案は可決された。

V 理事会その他の役員会の開催状況

1 平成 28 年度理事会

年間を通じて 8 回

(日付内容) 2016 年 5 月 8 日 H27 年度事業報告、監事交代の件他

7 月 1 日 WAM助成事業、理事長選任の件

7 月 12 日 WAM助成事業、今後の事業について

9 月 5 日 WAM助成事業

11 月 11 日 WAM助成事業、年会費の件

2017 年 1 月 6 日 WAM助成事業、年会費の件

2 月 6 日 WAM助成事業、年会費の件

3 月 10 日 WAM助成事業、年会費の件

2 運営会議: 街かどデイハウスきんき茶ろんスタッフ会議及び、事務局会議、クラブ代表者会議

年間を通じて 17 回 各部門の調整及び情報交換

2016年度 特定非営利活動に係る活動計算書

特定非営利活動法人きんきうえぶ

2016年 4月1日から 2017年 3月31日まで

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 入会金・会費収入	65,200	65,200	
2 受取寄付金	18,224	18,224	
受取助成金	6,452,000	6,452,000	
2 事業収入			
自主事業			
ICT推進事業	7,463,412		
PCサークル運営	72,680		
おはよう伝言板	0	7,536,092	
受託事業			
街かどデイハウス	3,000,000		
実費徴収	1,241,658		
介護予防事業	1,237,200		
市民公益活動支援センター	6,647,737		
生活支援コーディネーター	1,250,000		
町総代会60周年記念事業	501,105	13,877,700	
3 その他収益			
受取利息	1		
雑収益	467,556	467,557	28,416,773
経常収益計			28,416,773
II 経常費用			
1 事業費			
(人件費)			
給料手当	5,490,875		
臨時雇賃金	990,500		
福利厚生費	139,705		
人件費計	6,621,080		
(その他経費)			
事業支出	14,446		
業務委託費	10,122,912		
諸謝金	2,256,033		
印刷製本費	1,574,082		
新聞図書費	37,931		
会議費	3,741		
旅費交通費	113,390		
車両費	86,214		
通信運搬具	1,118,117		
消耗品費	1,023,610		
食材料費	528,750		
水道光熱費	424,359		
地代家賃	2,976,000		
賃借料	703,290		
減価償却費	0		
保険料	10,020		
諸会費	22,000		
租税公課	39,500		
支払手数料	19,524		
その他経費計	21,073,919		
事業費計		27,694,999	
2 管理費			
(人件費)	0		
(その他経費)			
租税公課	272,200		
支払手数料	267,288		
その他経費計	539,488		
管理費計		539,488	
経常費用計			28,234,487
当期正味財産増減額			182,286
前期繰越正味財産額			4,282,949
次期繰越正味財産額			4,465,235

※ 当該年度はその他の事業の実施がありませんでした。

2017年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人 きんきうえぶ

2017年 3月 31日現在

科 目	金額 (単位: 円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	3,677,311		
未収金	2,115,187		
前払費用	0		
流動資産合計		5,792,498	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物附属設備	1,380,000		
什器備品	896,000		
減価償却累計額	△ 2,069,409		
有形固定資産合計	206,591		
(2)無形固定資産	0		
無形固定資産合計	0		
(3)投資その他の資産	0		
投資その他の資産合計	0		
固定資産合計		206,591	
資産合計 (A)			5,999,089
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,422,889		
預り金	110,965		
流動負債合計		1,533,854	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計 (B)			1,533,854
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,282,949	
当期正味財産増加額 (減少額)		182,286	
正味財産合計 (C)			4,465,235
負債及び正味財産合計 (B) - (C)			5,999,089

2016年度の事業会計財産目録

特定非営利活動法人 きんきうえぶ

2017年3月31日現在

科 目	金額 (単位: 円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
(現金・預金)			
現金	3,184,016		
普通預金	476,787		
三菱東京UFJ	(350,851)		
近畿大阪	(112,945)		
りそな	(20,704)		
三井住友	(2,287)		
ゆうちょ	(△10,000)		
当座預金	3,508		
ゆうちょ	(3,508)		
定額貯金	13,000		
現金・預金計		3,677,311	
(売上債権)			
未収金	2,115,187		
		2,115,187	
(その他流動資産)			
前払費用	0		
		0	
流動資産合計		5,792,498	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物附属設備	1,380,000		
什器備品	896,000		
減価償却累計額	△ 2,069,409		
有形固定資産合計		206,591	
(2)無形固定資産	0		
無形固定資産合計		0	
固定資産合計		206,591	
資産合計 (A)			5,999,089
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,422,889		
預り金	110,965		
流動負債合計		1,533,854	
負債合計 (B)			1,533,854
正味財産 (A) - (B)			4,465,235